

地本執行委員会・任務分担について



○執行委員長	加藤 秀夫	総括・業務
○執行副委員長	藤井 明人	共闘・教宣
○書記長	福富 雅彦	企画・交運共済
○執行委員	荒井 聰	財政・総務
○執行委員	羽豆 一幸	業務
○執行委員	岡 聰	組織・共闘
○執行委員	清野 聰	組織・教宣
○執行委員	新野 徹	調査・業務
○特別執行委員	齊藤 仁司	共闘
○特別執行委員	佐藤 昌典	共闘
○会計監査	鷲尾 太郎	
○会計監査	木村 伸一	

第一回執行委員会が9月16日に開催し任務分担が決定しました。

典さん、前委員長の齊藤仁司さんを任命しました。執行体制は、特別執行委員2名を含め12名になりました。

1年間、よろしくお願ひします。

NO. 929
発行
2017年
10月25日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
加藤秀夫
編集責任者
教宣部



○1966年10月21日、総評が秋期闘争の第3次統一行動としてベトナム反戦を中心とするストライキを実施。48単産（産別單一労働組合）約211万人がストライキに参加。

10月に入つて21日は、たしかに國際反戦デーだったかなと思い、調べました。総評、県評があつた頃、新潟でも集会やデモ行進が取り組まれました。

ひとこと

91単産308万人が職場大会に参加、総評の内外への呼びかけに国内外から350人近い各界、知識人の支持、声明が発表された。世界労働組合連合をはじめ世界各労働組合からも連帯のメッセージがよせられ、以後、この日は、10・21国際反戦デーとなつた。

編集後記



この前、福島県へ行つてきました。山道を走るので紅葉を期待していましたが、さっぱり色づいていませんでした。もう少し標高が高くないとダメだつたんですね。磐越西線の山都駅の近くに、山都蕎麦が食べられる店がありました。ちょうど新蕎麦の時期だったので、新蕎麦を食べることができました。山都蕎麦は10割蕎麦・新蕎麦なので蕎麦の風味が濃厚で最高でした。私の行つた店は、山都駅から近いところで、そこは「蕎麦打ち」体験もできます。





2017年「退職者激励会」

2017年の「退職者激励会」が11月18日開催されます。今年の退職者は14名になりました。

午前中、地本事務所2階会議室で式典が開催され、式典終了後の懇親会の会場は別会場になります。

今年は、長年書記の業務をして頂いた、渡部スエ子さんも含まれています。

2017年度 退職者名簿

○田巻 信之	新潟駅連合分会
○小山 哲夫	新潟駅連合分会
○笹川 一則	中越地域分会
○小嶋 正春	直江津地域分会
○服部 幸生	新津運輸区分会
○斎藤 俊朗	中越地域分会
○伊川 多喜夫	直江津地域分会
○長部 晃	東新潟機関区分会
○土田 宏	新幹線第一運転所分会
○宮井 典夫	直江津地域分会
○吉川 俊彦	直江津地域分会
○長谷川 進	新幹線第一運転所分会
○浅見 亨	新潟駅連合分会
○渡部 スエ子	前地方本部書記



○事実をもとに会社に是正と未払い賃金の支払いを求める団体交渉を強化していく必要があります。

もし、会社が事実を無視し是正措置や未払い賃金の支払いを拒否した場合、労働基準法第104条に基づき労働基準監督署に「申告」することができます。

また、この「申告」行為による制裁等は禁止されています。

○具体的な証拠類の例

- ・コンピュータの送信記録等
- ・締め切り時刻の確認等の証拠
- ・運転取り扱いのための確認行為
- ・様々な相互確認の証拠
- ・「お中元」等の販売を強要する文書、指示行為等がそれにあたります。

○「サービス残業・ただ働き」の根絶のためには、「事実の把握」、いわゆる証拠が極めて重要なとなります。職場では労働の実態をしめす様々な証拠が存在します。あらためて「サービス残業・ただ働き」の根絶のために点検しましょう。

**サービス残業・ただ働きの根絶のためには
事実の把握を!**

